

ソーシャルネットワークがもたらしたもの

09 | 4091 大島綾人

1. ソーシャルネットワークについて

会員制ウェブサイト上で、名前や、職業・趣味・写真などの個人情報を公開し、会員同士で互いに友人を紹介し合ったり、知り合いを増やしたりできる機能を提供するサービス。

2. よく使われているソーシャルネットワーク

- (1) ツイッター 匿名で使える、フォロー、リツイート、ハッシュタグなどの機能がある。
- (2) フェイスブック 実名が原則、人脈をつくることに使われる、画像や動画も投稿できる。
- (3) ミクシー 加入の際に紹介が必要、日本で歴史がある。
- (4) リンクトイン 実名が原則、ビジネスマン向け、人材採用の場。
- (5) ライン スマホ向け無料通話とメール、スタンプ機能、最近急速に普及。

3. ソーシャルネットワークの利用者 座談会・インタビュー

ソーシャルネットワークの利用実態を知るため、利用者から聞き取りをおこなった。

(1) 時実ゼミ 座談会

ソーシャルネットワークを利用している座談会をおこなった。SNS を行う 1 番の目的は独特の「ゆるい空気感を楽しむ」ということである。

ソーシャルネットワークを利用するにあたってプライバシー問題や荒らし、デマなどの問題をしっかり理解して利用していた。また参加者の中でフェイスブックを 1 名も使っていないというところに実名で SNS を行うということへの大きな抵抗を感じられた。

インターネットが身の回りにある中で育った世代であり、そこにある掲示板というものは匿名で参加できることが当たり前であったことも大きく関係しているのではないかと考えられる。

(2) 愛知大学 文学部教員 インタビュー

A 先生 フェイスブック利用

海外とのやりとり、昔の友人とのやりとり、仕事の打ち合わせ
ツイッターは匿名なので抵抗がある

- B 先生 フェイスブックを情報を受け取るツールとして利用
情報を出すと多数の人に筒抜けになることが問題
- C 先生 フェイスブックもツイッターも使用
既存メディアに替わる情報入手のツールとして利用
社会的メッセージを伝えるために投稿
- D 先生 ミクシィ、フェイスブック、ツイッターを利用
ツイッターはツイッターだけで流れている情報入手のため

(3) 愛知大学 卒業生 インタビュー

- E 氏 フェイスブックと所属組織の SNS
投稿はしない、職場の人の発信情報のチェックのため使う
- F 氏 フェイスブック、ミクシィ、ツイッター、ラインを使用
ミクシィとツイッターは友人との連絡や趣味の情報
フェイスブックは仕事関係の連絡

4. ソーシャルネットワークに関するトピック

津田大介によれば、近年 SNS は社会的、政治的にも大きな影響力を持ち、海外では「アラブの春」など国で革命を起こす原動力となり、日本でも原発デモの動員に大きく関わっているといわれている。

3.11 震災の際には唯一のコミュニケーションツールとして大きな役割を果たした。安否情報や炊き出しなど他のメディアではなかなか放送されにくい性質の情報をソーシャルネットワークを通して発信されていた。

4. 考察

(1) SNS の使われ方

友達と軽くつながるため、仕事上の連絡のため、情報の共有などの目的で使われている。

(2) 社会現象としての SNS

SNS は迅速な情報伝達手段であり、社会参加のツールである。またマスコミを保管する機能がある。同時に生活のリズムを変えるものである。